2014年6月16日
株式会社オートポリス

3サーキットのライセンスが共通化

- スポーツランドSUGO・岡山国際サーキット・オートポリス、垣根越えモータースポーツの拡大を目指す -

このたび株式会社岡山国際サーキット(岡山県美作市滝宮1210)、株式会社菅生（宮城県柴田郡村田町菅生6-1）、株式会社オートポリス（大分県日田市上津江町上野田1112-8）の3社は、モータースポーツ人口の拡大とモータースポーツの振興を目的とし、サーキット場をスポーツ走行するためのライセンスの共通化を2014年6月16日（月）より開始することで合意いたしました。

今回のサーキットライセンス共通化により、6月16日（月）より、岡山国際サーキット、スポーツランドSUGO、オートポリス（SPA直入コース※1を含む）いずれかのサーキットライセンスを取得・所持することで、3箇所のサーキットで、スポーツ走行が可能となります。このサーキットライセンス共通化で、現状特定のサーキットでのみ活動していたユーザーが広く各地のサーキットで走行できるようになることで、日本国内でのモータースポーツの振興と拡大が期待されます。

※1:スポーツ走行には、簡易講習が必要です。必ず事前予約をして、おいでください。
※2:SPA直入コース(大分県竹田市直入町大字上田北字浦原510-15)は、株式会社オートポリスが管理

宮城県・岡山県・大分県の国際格式サーキットのスポーツ走行ライセンスが共通化されることで、国内モータースポーツの拡大とユーザーの交流が期待されます。

※掲載の写真はサーキット走行イメージ

本件に関するお問合せ

〒877-0312　大分県日田市上津江町上野田1112-8　株式会社オートポリス
TEL：0973-55-1111　FAX：0973-55-1113　http://www.autopolis.jp

≪3サーキット・ライセンス共通化、ご利用にあたって≫

●スポーツ走行をご利用頂くにあたって、次の決まりがあります。

① **スポーツランドSUGO・岡山国際サーキット・オートポリス、ライセンス会員であること。**
② 皆様が気持ち良くご利用頂ける様、サーキットスタッフの指示・指導には快く従ってください。
③ 2輪スポーツ走行の場合、市販状態において125cc以上の車格を有すること。
④ 4輪スポーツ走行の場合、トラック・オフロード車・車高の高いワゴン車等は走行できません。
⑤ 1回の走行につき、1マシン・1ライダー・1ドライバーです。
走行中、マシンチェンジや運転者の交代を行う事は出来ません。
⑤ 同乗走行は出来ません。
⑥ 飲酒運転は禁止です。

≪サーキットでのマナー≫

●喫煙
決められた場所でのみ可能です。禁煙の場所では絶対に喫煙しないでください。
（コントロールタワー1Fドライバーズサロン側・ドライバーズサロン入り口横喫煙バス）

●ゴミは分別して袋等に入れ、所定のゴミ箱へ入れてください。

●場内での二輪車
事故防止のため、ヘルメットを着用してください。

●場内での移動
パドックや駐車場、通路を使用したマシンテストや、ブレーキテストを禁止します。事故防止のため、場内では徐行してください。

●パドック・ピット
全て火気厳禁です。火花が発生する作業等も禁止します。※暖房器具の使用も不可です。

≪サーキットへはグループで≫

●サーキット走行はその性質上、危険が伴います。
万一怪我してしまった時、マシンがトラブルに見舞われた時、クラッシュしてしまった時に、最低限帰りの手段を確保して頂く意味でも一人ではなく、お友達・ご家族・ショップのスタッフ等とお越し頂く事をお勧めします。公共の交通機関はありません。

≪走行前の確認≫

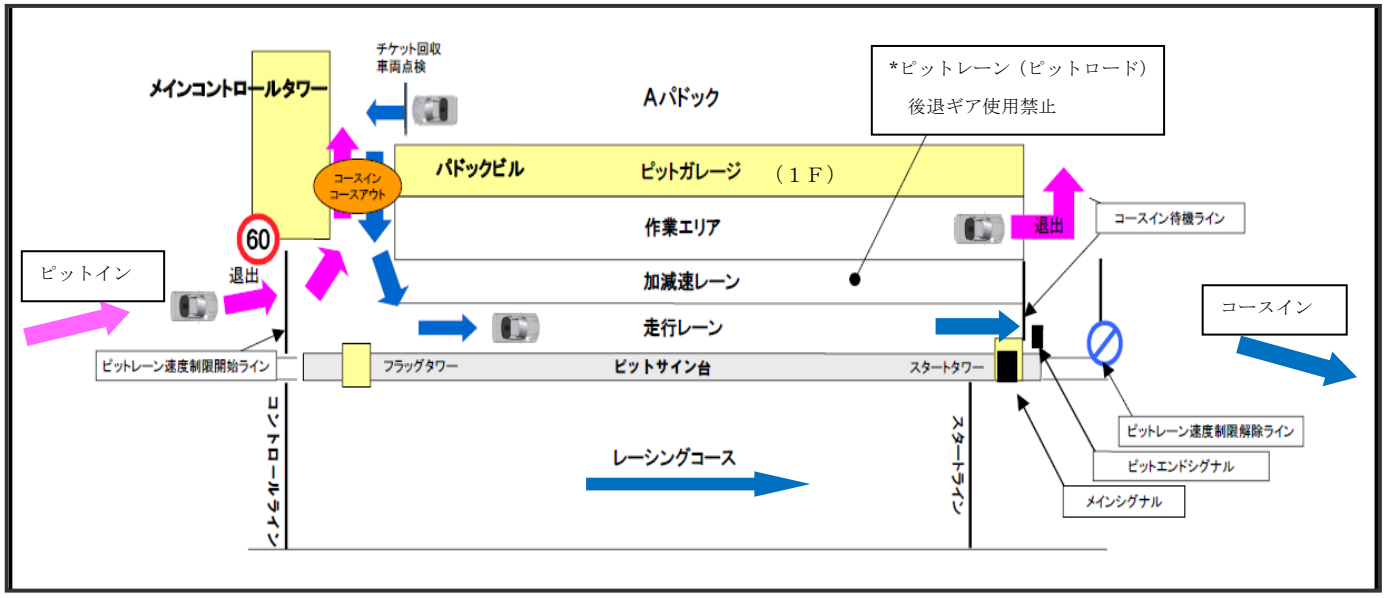
● 走行する際には、次の事を習慣づけてください。
① 走行前、走行後の車両の点検・整備。（ボルト類・足回り・ブレーキ類・オイル管理など）
② 装備の点検。
③ コースの状態の確認。
コース状態に注意いただく場所等ある場合、場内放送にてアナウンスします。皆さん聞き逃さないようにご注意ください。
例：コースの一部分のみウェットになっている　コース内にてオイル処理を行ったなど。

≪3サーキット・ライセンス共通化、ご利用にあたって≫

（オートポリス・インターナショナルレーシングコース）

≪走行の注意≫

*オートポリスサーキットは、コース進行方向左側にパドックビル及びピットロードがあります。



1. ≪コースイン～1周目≫

<u>コース左側ピットロードよりコースイン、第1コーナーを通過するまでコース左端を追い越し禁止で通過してください。</u>

遅れてコースインする際は、<u>ストレートを走行してくる車両がいないか、必ず後方確認</u>を行ってコースインしてください。

2. ≪ストレートを走行≫

ストレートを走行する時、<u>ピットロード（左側）よりコースインしてくる車両と走行ラインが重なります。</u>コースインしてくる車両と走行ラインが重ならない事を確認し、ラインチェンジを行ってください。

3. ≪ショートカットコースの横断≫

<u>13番ポスト先からショートカットコースを使用し最終コーナーへ出る行為は危険な為禁止です。</u>

4. ≪ピットイン≫

ピットインする場合、あらかじめ他の走行者に対し合図(ウィンカーや手信号)を出してください。
合図を出す目安は、最終コーナー付近(23番ポスト先)からです。
合図を出し、徐々にスロー走行に入ります。この時、<u>コースの進行方向左端(スロー走行ライン)</u>を走行してください。

5. ≪走行区分≫

2SP→2輪スポーツ走行（市販状態において125cc以上の車格を有すること。）
4SP→4輪スポーツ走行（フォーミュラカー等も混走）
*トラック・オフロード車・ワゴン車〔車高の高い車両〕等不可
KSP→カートスポーツ走行（総排気量100cc以上の車両であること。）
2R→2輪レーシング走行（2分10秒以内での走行）
4R→4輪レーシング走行（2分10秒以内での走行）

※ご不明な点は、来場前にお問合せください。

個人の装備品　＜2輪＞

1. ≪ヘルメット≫

皆さんの頭部を守る唯一のアイテムです。規格に通った2輪用フルフェイスヘルメットをご用意ください。
小型2輪用ヘルメット・モトクロス用ヘルメットは使用できません）
＜例＞JIS規格126cc以上用　スネル規格など。 製造後少なくとも5年次以内の物をご使用ください。

OK

NG

NG

※一度大きな衝撃を受けたヘルメットは、安全性が著しく低下します。状況により走行をお断りさせて頂く場合が御座います。

2. ≪スーツ≫

ライディングスーツは必ず**皮製のレーシングスーツ**をご用意ください。
ツーリング用の装備や、破れ・ほつれ等で中の服が見えるようなスーツは使用できません。
2ピースのスーツに関しては、MFJ 公認規格を取得したもののみ使用できます。
※ヘルメットと同様に、スーツに破損が生じ補修が万全でない場合は走行をお断りさせて頂く場合が御座います。

MFJ公認規格(スーツ)

MFJ STANDARD

3. ≪ブーツ≫

レーシングブーツをご用意ください。

OK

NG

4. ≪グローブ≫

レーシンググローブをご用意ください。

OK

NG

メカニックグローブ等は使用できませんのでご注意ください

個人の装備品　＜4輪＞

1. ≪ヘルメット≫

規格に通ったヘルメットを着用してください。
火災等を考慮して、4輪用ヘルメットを着用するのが望ましいが、2輪用ヘルメットでも走行可能です
2輪とは違い、オープンフェイスも使用可能ですが、スクーター用などの半キャップは使用できません。
※一度大きな衝撃を受けたヘルメットは、安全性が著しく低下します。状況により走行をお断りさせて頂く場合が御座います。

OK

NG

2. ≪レーシングスーツ≫

難燃繊維(NOMEX 等)のレーシングスーツをご用意ください。
FIA公認などの規格を通った製品が望ましいが、規格無しの場合でも最低限難燃繊維(NOMEX　等)のドライビングスーツ以上としてください。メカニックスーツ、綿のツナギなどは使用できません。

OK

OK

ＦＩＡ公認規格マーク

NG

3. ≪レーシンググローブ≫

難燃繊維(NOMEX 等)のレーシンググローブをご用意ください。メカニックグローブなどは使用できません。

OK

NG

4. ≪レーシングシューズ(推奨)≫

レーシングシューズが望ましい。運転を妨げない範囲のスニーカーでも走行可能です。

個人の装備　＜カート＞

1. ≪ヘルメット≫

4輪用又は2輪用のシールド付きフルフェイスヘルメットをご用意ください。

2. ≪レーシングスーツ≫

JAF、CIK／FIA公認のレーシングスーツが望ましいが、皮ツナギでも走行可能です。綿ツナギ、エンカン服は走行不可です。

3. ≪レーシンググローブ≫

カート又は4輪用レーシンググローブ若しくは2輪用レーシンググローブをご用意ください。

4. ≪レーシングシューズ(推奨)≫

レーシングシューズが望ましい。運転を妨げない範囲のスニーカーでも走行可能です。

5. ≪ネックガード、ネックブレイス（推奨）≫

車両の装備　＜2輪＞

1. ≪バックミラーやウィンカー、ナンバープレート≫

転倒時、コースに飛散したりし2次災害を起こす危険がありますので、必ず取り外してください。カウルなどに埋め込まれ取り外しが出来ない車両の場合は、外れないようにビニールテープでしっかり固定してください。

2. ≪ヘッドライト≫

ヘッドライトは、極力取り外してください。外せない場合には、転倒時レンズ落下や飛散しない様に、カウルにかかる様、レンズ面全体をテーピングしてください。

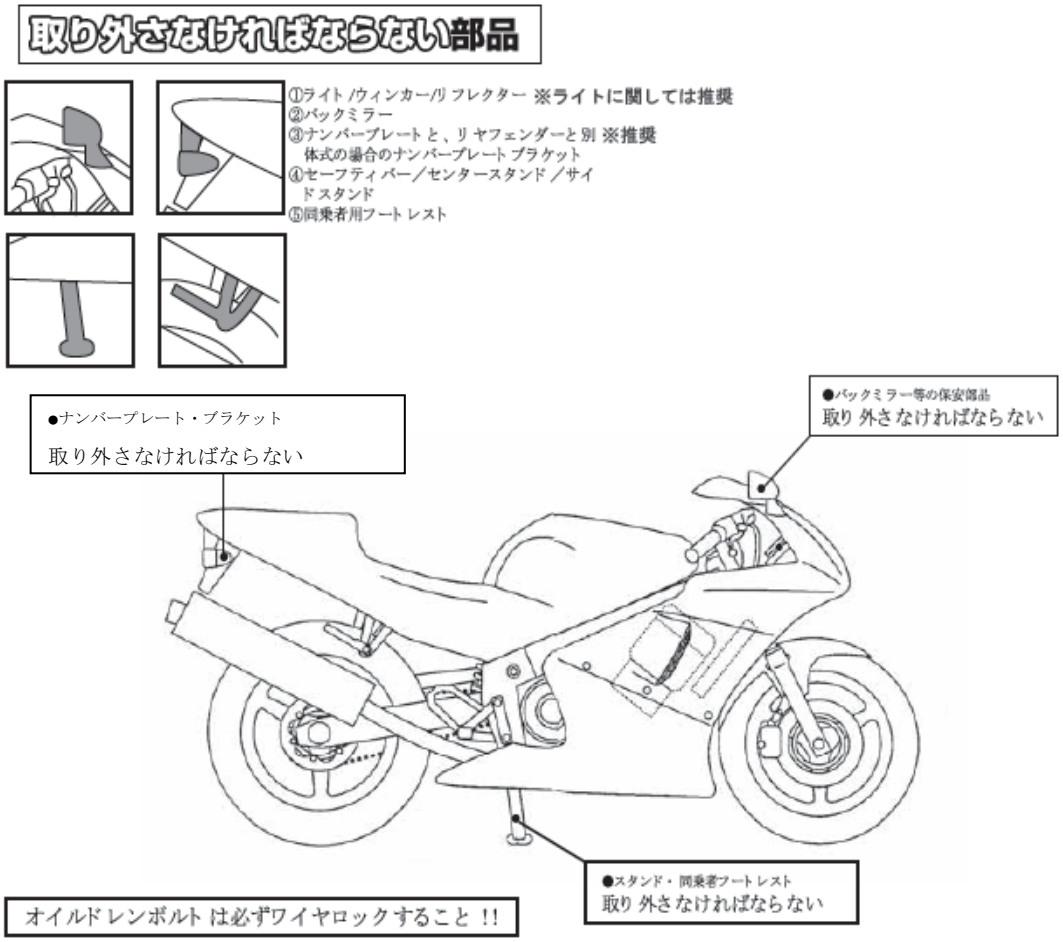
3. ≪スタンド類≫

サイドスタンドやセンタースタンドは、転倒時に危険な突起物となる為、**必ず取り外し**てください。サイドスタンドセンサーが付いている車両は、**事前に配線を加工するなどして機能を停止させてください。**

4. ≪ワイヤーロック≫

走行中緩んではならない箇所には、ワイヤーロックをかけてください。(例:ドレンやフィラーキャップ、ブレーキキャリパーのボルト等)

＊ワイヤーロックのかけ方が分からない方は、行きつけのショップの方に相談してみてください。



車両の装備　＜4輪＞

1. ≪シートベルト≫

必ず４点式以上のフルハーネスタイプのシートベルトを取り付けてください。**ノーマルの3点式は走行出来ません。**

※バックル（固定具）の指定はありません。　※車体側の取り付けは「Iボルト」使用のこと。

※シートベルト幅の指定はありません。

2. ≪ヘッドライト、その他ランプ類≫

クラッシュや接触を起こしたときコースへの落下・飛散を防止する為に、ボディーに掛るよう必ずレンズ面にテーピングを施してください。

3. ≪ミラー類≫

後方確認をするためのパーツは絶対に取り外さないでください。又、小さいエアロミラーを取り付ける場合、最低限度後方確認が出来る大きさにとどめてください。

4. ≪排気音量≫

近隣への環境を考慮し、排気音量は120dB／Aまでとしてください。

5. ≪ロールバー、ロールケージ(推奨)≫

① 取り付けの義務はありません。軽自動車は取り付けを強く推奨します

② **オープンカーで幌（ほろ）を開けて走行する場合、4点式以上のロールバーが必要となります。**

6. ≪スポイラー等≫

スポイラー等を取り付ける際は、車幅を越えない大きさにとどめ、末端が鋭利でないものとしてください。

7. ≪けん引フック≫

標準装備のけん引フックがエアロパーツ等により使用出来ない車両は、外付けのけん引フックを必ず取り付けてください。

後付け牽引フックの為、常設のけん引フックが無い車両については、走行時必ず車両の前後に取付けてください。**けん引フック未装着車両は、緊急時車体のパーツ部分をけん引に使用する場合があります。**

けん引フック取り付け例

↓メーカー純正品でもOK↓

車両の装備　＜カート＞

1. ≪走行車両の資格≫

①総排気量100cc以上の車両であること。

②フットブレーキが装着されていること。ハンドブレーキは任意です。

③オープンカウル車両は乗り上げ防止の為、F、Rバンパーを装着のこと。

2. ≪車両規則≫

車両規則は特に定めませんが、突起物、油脂漏れや過剰なグリスアップは極力控えるように御願いします。

※危険と判断された車両はコースインを認めない場合があります。